

ELECOM

ホイール付イメージセンサマウス M-M1UP2Rシリーズ ユーザーズマニュアル

この度は、エレコム製のホイール付イメージセンサマウス「M-M1UP2R」シリーズをお買いあげいただき誠にありがとうございます。このマニュアルでは「M-M1UP2R」シリーズの操作方法と、「M-M1UP2R」シリーズを安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずこのマニュアルをお読みください。なお、このマニュアルでは一部の表記を除いて「M-M1UP2R」シリーズを「本製品」と表記しています。このマニュアルは大切に保管しておいてください。

対応OS：Windows® XP/Me/2000/98(USB)
Windows® XP/Me/2000/98/NT (SP3以降)/95 (PS/2)

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または当社エレクトロニクス総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- マウス本体(コード長さ 1.5m) 1個
- PS/2変換コネクタ 1個
- ユーザーズマニュアル(このマニュアルです) 1枚

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

	警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡やけがなど人身事故の原因になります。
	注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

■絵表示の意味

- 〇記号は「してはいけない」ことを示します。
- 記号は「しなければならない」ことを示します。

警告

- 本製品が発熱している、煙がでている、へんな臭いがしているなどの異常があるときは、直ちに使用を中止したうえで、本製品をパソコンから外してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品を落としたり、ぶつかけたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、直ちに使用を中止したうえで、本製品をパソコンから外してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品の分解、改造、修理をご自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。
- 本製品に水や金属片などの異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで、本製品をパソコンから外してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
- 本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。
- 本製品はぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。
- マウスの底面にあるオプティカルセンサ(赤い光)を直接見ないようにしてください。目を痛めることがあります。また、このセンサを汚したり、傷をつけたりしないでください。

注意

- 本製品は次のようなところには置かないでください。
 - ・日のあたる自動車内、直射日光のあたるところ、暖房器具の周辺など高温になる場所
 - ・多湿な場所、結露をおこす場所
 - ・平坦でない場所、振動が発生する場所
 - ・マグネットの近くなどの磁場が発生する場所
 - ・ほこりの多い場所
- 本製品をパソコンに接続するときは、コネクタの向きを間違えないように接続してください。無理に押し込むと、コネクタやパソコンが故障したり、けがをする恐れがあります。
- 本製品は防水構造ではありませんので、水などの液体がかからない場所で使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

本製品を使用する場合の注意事項

- 本製品の誤動作によって、重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。
- ガラスなどの透明な場所や鏡など強く反射をする場所で使用すると、オプティカルセンサが正しく機能せず、マウスカーソルの動きが不安定になります。
- 1ヶ月以上使用しない場合は、本製品をパソコンから外してください。
- 本製品を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。

お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると変質や変色をおこすことがあります。マウス本体はときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良や動作不安定の原因となります。

マウスの取り付け/取り外し

本製品をはじめとお使いになるときは、以下の手順どおりパソコンに取り付けます。

USB コネクタに接続する

Windows® XP/Me および Windows® 2000 の一部の環境では、マウスを接続すると自動的に USB のドライバがインストールされ、すぐに使用できるようになります。

■取り付けの場合

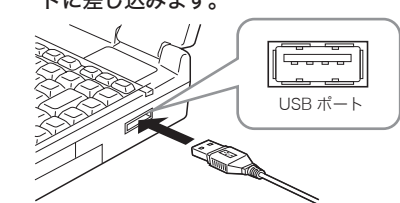
注意

- Windows® 98/2000 をご使用の場合、今までお使いのマウスは接続したままにしておきます。あとのセットアップでマウスの操作が必要になる場合があります。
- 既存のマウスがメーカーオリジナルのドライバや設定ユーティリティなどを使用している場合は、あらかじめアンインストールしておいてください。他社製ドライバなどがインストールされていると本製品が正常に動作しないことがあります。アンインストール方法については既存のマウスの説明書をお読みください。

① USBケーブルを取り付ける前にパソコンの電源を入れ、Windows®を起動します。

Windows® XP/2000の場合は、Administratorの権限をもつユーザーでログインします。

② USBケーブルをパソコンのUSBポートに差し込みます。



③ この後は OS により動作が異なります。

- Windows® XP/Me の場合
自動的に USB のドライバがインストールされます。これでマウスの取り付けと USB のドライバのインストールは完了です。
→「マウスを使う」へ進みます。
- Windows® 2000 の場合
・USB のドライバが自動的にインストールされた場合は、これでマウスの取り付けと USB のドライバのインストールは完了です。
→「マウスを使う」へ進みます。
・USB のドライバが自動的にインストールされない場合は、USB のドライバを手動でインストールする必要があります。
→「セットアップ」へ進みます。
- Windows® 98 の場合
ウィザード画面が表示されます。
→「セットアップ」へ進みます。

■取り外す場合

本製品はホットプラグに対応していますので、Windows®が起動した状態でも取り外すことができます。※Windows®の起動中に何度も着脱をくり返すと、動作が不安定になることがあります。このような場合は Windows®を再起動してください。

PS/2 コネクタに接続する

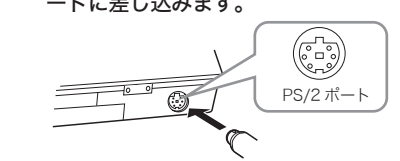
■取り付けの場合

注意

Windows® 95/NT 4.0 の場合は、当社のホームページからドライバファイルをダウンロードしておきます。
・ダウンロード先は
<http://www.elecom.co.jp/support/download> です。

① パソコンの電源が切れていることを確認します。

② PS/2 ケーブルをパソコンの PS/2 ポートに差し込みます。



③ パソコンの電源を入れます。

- Windows® XP/Me/2000/98 の場合
・パソコンの電源を入れると、マウスがご使用になれます。起動時に再起動を促すメッセージが表示された場合は、**[はい]** ボタンをクリックし、Windows®を再起動してください。



→「マウスを使う」へ進みます。

- Windows® 95/NT 4.0 の場合
・Windows® NT 4.0 では Administrator 権限でログインしてください。

① ダウンロードした「setup(.exe)」をダブルクリックします。

② ファイルを解凍しますので、**[次へ]** ボタンをクリックします。

③ ファイルの解凍が終わり、インストールウィザードの画面が表示されますので、**[次へ]** ボタンをクリックします。

④ インストール先を指定します。通常は変更する必要はありませんので、そのまま**[次へ]** ボタンをクリックします。

- ・インストール先を変更したい場合は、**[参照]** ボタンをクリックして選択してください。

⑤ プログラムフォルダを指定します。通常は変更する必要はありませんので、そのまま**[次へ]** ボタンをクリックします。

- ・プログラムフォルダ名を変更したいときは、新しい名称を入力してください。

⑥ **[次へ]** ボタンをクリックします。

⑦ ドライバのインストールが完了したら、そのまま**[完了]** ボタンをクリックします。

- ・Windows®が再起動するとホイール機能が使えるようになります。
→「マウスを使う」へ進みます。

■取り外す場合

本製品はホットプラグに対応していますので、Windows®が起動した状態でも取り外すことができます。※Windows®の起動中に何度も着脱をくり返すと、動作が不安定になることがあります。このような場合は Windows®を再起動してください。

セットアップ

Windows® 2000 の一部の環境と Windows® 98 では、USB ケーブルの取り付け後にウィザード画面が表示されます。ウィザード画面が表示された場合は、この後の各 OS の説明をお読みになりドライバをインストールしてください。

Tips マウスやタッチパッドのないパソコンの場合

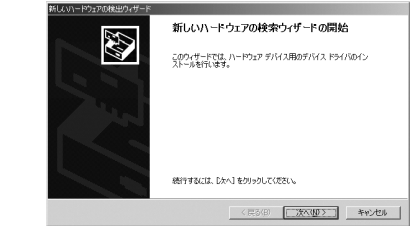
Windows® 98/2000 ではセットアップ時にマウスの操作が必要ことがあります。マウスまたはタッチパッドがないパソコンをお使いの場合は下記をご覧ください。

- [TAB]** : 項目やボタンを移動します。
- [↑][↓]** : 項目に選択肢がある場合に、選択肢の間を移動します。
- [スペース]** : キーを押すたびにチェックボックスをオン/オフします。

※ **[次へ]** **[OK]** **[キャンセル]** などのボタンを実行したい場合は、**[Enter]** キーを押します。

Windows® 2000 の場合

Windows® 2000 では、ご使用の環境によって USB ケーブルの取り付け後にウィザード画面が表示される場合があります。ウィザード画面が表示された場合は、メッセージにしたがって USB のドライバをインストールしてください。USB ケーブルの取り付け後に自動的に USB のドライバがインストールされた場合は、ウィザード画面は表示されませんので、この手順は不要です。



- 途中、〈ドライバファイルの特定〉画面が表示された場合は **[検索場所のオプション]** のチェックをすべてオフにして、次へ進んでください。



- 途中、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面が表示されます。「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」および「HID 準拠マウス」のいずれのドライバも正常に動作することを当社で確認しておりますので、**[はい]** ボタンをクリックして次へ進んでください。



これで USB のドライバのインストールは完了です。「マウスを使う」へ進んでください。

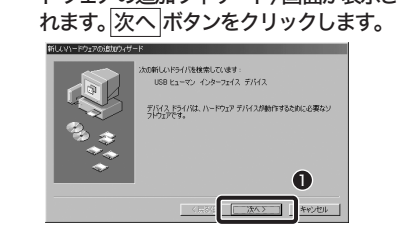
Windows® 98 の場合

Windows® 98 では USB ケーブルの取り付け後にウィザード画面が表示されますので、手動で USB のドライバをインストールしてください。セットアップ中に「Windows® 98 オペレーティングシステム」の CD-ROM が必要になる場合がありますので、あらかじめご注意ください。

●Windows® 98 プリインストールモデルのコンピュータをご使用の場合

パソコンのご購入時に添付されている「Windows® 98 CD-ROM」または「Windows® 98 Second Edition CD-ROM」をご用意ください。このような表記の CD-ROM が無い場合は、手順⑧の **Tips** で「ファイルのコピー元」に CD-ROM ドライブを指定する代わりに「C:\windows\options\cabs」フォルダを指定してください。※このフォルダを指定してもインストールが進まない場合は、Windows® 98 標準ドライバファイルの保存先についてお使いのパソコンのメーカーにお問い合わせください。※Windows® 98 プリインストールモデルの場合は、ドライバが自動的にインストールされることもあります。●Windows® 98 のパッケージをご購入されている場合
パッケージに入っている「Windows® 98」の CD-ROM をご確認ください。

① USBケーブルの取り付け後、〈新しいハードウェアの追加ウィザード〉画面が表示されます。 **[次へ]** ボタンをクリックします。



② 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択します。

③ **[次へ]** ボタンをクリックします。



④ すべてのチェックボックスをオフにします。

⑤ **[次へ]** ボタンをクリックします。



- ・キーボードで操作している場合で **[検索場所の指定]** のチェックボックスがオフにできないときは、**[検索場所の指定]** の入力スペースを空白にしておいてください。

⑥ 検索するドライバファイルとして「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」が表示されていることを確認します。

⑦ **[次へ]** ボタンをクリックします。



セットアップ (つづき)

⑤ Windows® 98 CD-ROM をドライブに入れるようにメッセージが表示された場合は、**用意しておいた CD-ROM をドライブに入れます。** **[OK]** ボタンをクリックします。



- Windows® 98 CD-ROM の画面が表示された場合は、画面右上の **X** をクリックして画面を閉じてください。
- プリインストールモデルをご使用の場合は、このあとの **Tips** を参照してフォルダを指定してください。

Tips **[OK]** ボタンをクリックしたあと、〈ファイルのコピー〉画面が表示された場合

以下のいずれかの方法で「ファイルのコピー元」を指定します。
※プリインストールモデルで Windows® の CD-ROM が添付されていなかった場合は、CD-ROM ドライブのドライブ名の代わりに「c:\windows\options\cabs」フォルダを指定してください。
※コピー先のほうが、CD-ROM のファイルより日付が新しい場合は、そのまま新しい日付のファイルを使用してください。

●ドライブ / フォルダ名を入力する方法



①キーボードから CD-ROM ドライブのドライブ名と「win98」を入力します。
例：CD-ROM を D ドライブに入れた場合
D:\WIN98 (小文字でも可)

※ドライブ名に続いて「:」と「\」を入力し、さらに「WIN98」を入力します。

② **[OK]** ボタンをクリックします。

●参照 ボタンをクリックする方法



- ①〈ファイルのコピー〉画面で、**参照** ボタンをクリックします。
- ②「ドライブ」で CD-ROM を入れたドライブを選択し、「フォルダ」で「win98」フォルダを選択します。
- ③ **[OK]** ボタンをクリックします。
- ④〈ファイルのコピー〉画面の **[OK]** ボタンをクリックします。

⑥ ドライバのインストールが完了したら、**完了** ボタンをクリックします。



- Windows® 98 CD-ROM を取り出してください。

注意

[完了] ボタンをクリックしたあと、Windows® 98 CD-ROM を要求されたときはご使用の環境によっては **[完了]** ボタンをクリックしたあと、ドライブの更新中に Windows® 98 の CD-ROM を要求されることがあります。このような場合は、手順⑤と手順⑥の **Tips** を参考にインストール作業を続けてください。

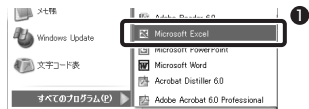
これで USB のドライバのインストールは完了です。「マウスを使う」へ進んでください。

マウスを使う

●ホイールの動作を確認する

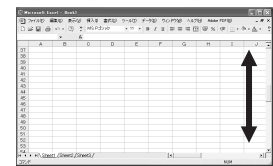
ドライバが正常にインストールされると、カーソルの移動や左右ボタンが使用できるようになります。ここでは、「Microsoft Excel」を使ってマウスのホイールが正常に動作しているかを確認します。

① **[スタート] ボタン**を**[すべての] プログラム**を選択し、**[Microsoft Excel]** をクリックします。



② マウスのホイールを前後に回します。

- ホイールの動きに合わせて画面が上下にスクロールすれば問題ありません。



注意

すべてのアプリケーションがホイール機能に対応しているわけではありません。一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

●マウスの機能をもっと充実させるには

当社のホームページ上、ホイールマウスの機能をさらに充実させるエレコムオリジナルユーティリティが用意されています。無償でダウンロードが可能ですのでご利用ください。
ホームページアドレス
= <http://www.elecom.co.jp/support/download/>
※本製品の製品型番はマウス本体のうら面に記載されています。

ユーザーサポートについて

本製品のマニュアルは保証書を兼用しています。保証内容をお確かめの上大切に保管してください。本製品のご使用中に何らかのトラブルが起きたとき、または操作方法や使いかたがわからないときは、エレコム総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

●エレコム総合インフォメーションセンター 商品に関するお問い合わせは	受付時間 9:00~12:00 13:00~18:00
TEL. 0570-084-465	年中無休
FAX. 0570-050-012	

基本仕様

製品名	ホイール付イメージセンサマウス
製品型番	M-M1UP2R
インターフェイス	USB / PS2
対応機種	IBM PC/AT 互換機および NEC PC98-NX シリーズで USB ポートを標準で装備した機種
対応 OS	Windows® XP/Me/2000/98 (USB) Windows® XP/Me/2000/98/ NT (SP3以降)/95 (PS/2)
動作温度 / 湿度	10℃ ~ 40℃ / 95% RH
保存温度 / 湿度	-40℃ ~ 60℃ / 95% RH
分解能	800 カウント / インチ
形状寸法 / 重量	W55.0×D90.0×H35.0mm / 66.0g
梱包内容	マウス本体、PS/2 変換コネクタ、 ユーザーズマニュアル

トラブルシューティング

正常に動作しないとき

■マウスを動かしても画面上のマウスポインタが動かない。または、不安定である。

→使用している場所の光の反射率が光学式マウスに適していない可能性があります。
光学式マウス対応マウスパッドをお使いください。ただし、マウスパッドはセンサの光と異なる色合いの物をお選びください。

→センサ光と同じような色のマウスパッドをご使用になると、反射光の色がマウスパッドの色と混ざってしまい、マウス内の受光器で正しく読み取れない場合があります。マウスのセンサ光と異なる色のマウスパッドをお試しください。

■マウスカーソルは動くが、ホイールが動かない。

→すべてのアプリケーションがホイール機能に対応しているわけではありません。一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

■ホイールユーティリティをインストールする時に「管理者権限が無い」というエラーが表示され、インストールできない。
【Windows® 2000/XP】

→Windows® 2000/XP では、そのパソコンの管理者 (Administrator) 権限を持つアカウントでログオンしないと「ホイールユーティリティ」をインストールすることができません。管理者権限アカウントでログオンしてからインストールしてください。
もし、管理者権限が不明な場合は、パソコンメーカーに初期出荷状態時の管理者権限アカウントをお問い合わせください。
会社等でお使いの場合は、社内パソコン管理担当の方へご確認をお願いいたします。

■USB ケーブルマウスを USB ポートに挿しても動かない。

→USB マウスを USB ポートに挿入しても動かない場合、Windows® にて「不明なデバイス」として誤認識している可能性があります。この場合、デバイスマネージャを使って「不明なデバイス」を削除してから、ドライバのインストールをやり直してみてください。

■ノートパソコンにマウスを接続しましたが、正常動作しません。

→ノートパソコンに搭載されているポインティングデバイスの影響で正常動作していない可能性があります。パソコンメーカーにご確認の上、ポインティングデバイスの機能を停止もしくは削除してみてください。(当社マウスのご利用を止められる場合も想定してタッチパッドまたはトラックポイントの復帰方法も合わせてご確認ください。)

■マウスを接続していると、パソコンの電源を切ってもイメージセンサ部分が光ったままになる。

→パソコンの電源が切れた後でも待機電力が流れている場合、パソコンの仕様によってはマウスのセンサが光る場合があります。パソコンの仕様によるものですので、マウスの異常ではありません。マウスをパソコンから外していただくか、パソコン本体のコンセントを抜いてください。
パソコン本体のコンセントを抜かないでマウスへの待機電力を止める方法は、パソコンメーカーにご確認ください。(仕様上、止められないパソコンもございます。)

その他、マウスに関する FAQ が当社のホームページに用意されていますのでご利用ください。
ホームページアドレス = <http://www.elecom.co.jp/support/faq/>

「不明なデバイス」の削除方法

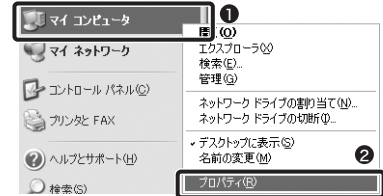
本製品のドライバが正しくインストールされず、「不明なデバイス」として登録されているときは、デバイスマネージャを使って「不明なデバイス」を削除してからセットアップをやり直してください。

注意

- 「不明なデバイス」が複数ある場合、削除をはじめに「不明なデバイス」が本製品の認識情報であることを確認してください。USB ケーブルをいったんパソコンから取り外して、「不明なデバイス」の表示が消えれば、それが本製品の認識情報です。
確認が終わったら再度本製品をパソコンに接続し、以下の手順にしたがって削除してください。
- 以下の手順どおりにドライバを削除しても「不明なデバイス」が消えない場合は、パソコンに何らかの問題が発生している可能性がありますので、パソコンメーカーにお問い合わせください。

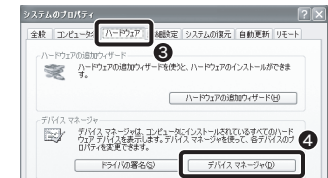
■Windows® XP/2000 でデバイスマネージャを表示する

- ① Windows® XP では、**[スタート]** ボタンをクリックし、**[マイコンピュータ]** アイコンを右クリックします。
Windows® 2000 では**デスクトップ**にある**[マイコンピュータ]** アイコンを右クリックします。
- ② **[プロパティ]** をクリックします。



※画面例は Windows® XP の場合

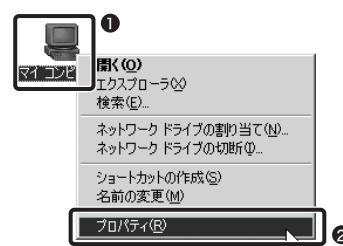
- ③ **[ハードウェア]** タブを選択します。
- ④ **[デバイスマネージャ]** ボタンをクリックします。



⑤ このあとは「『不明なデバイス』を削除する」へ進みます。

■Windows® Me/98 でデバイスマネージャを表示する

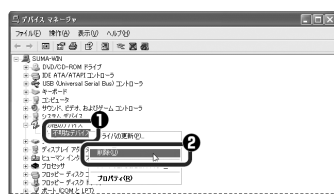
- ① **デスクトップ**にある**[マイコンピュータ]** アイコンを右クリックします。
- ② **[プロパティ]** をクリックします。



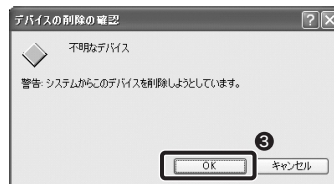
③ このあとは「『不明なデバイス』を削除する」へ進みます。

■「不明なデバイス」を削除する

- ① **[デバイスマネージャ]** 画面にある「不明なデバイス」を右クリックします。
- ② **[削除]** をクリックします。



③ **[OK]** ボタンをクリックします。



④ 本製品を接続したまま、Windows® を再起動します。
この後、「セットアップ」をお読みになり、ドライバのインストールをやり直してください。

保証規定

■保証内容

取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容に基づき無償修理いたします。

■無償保証範囲

製品が故障した場合、お客様は保証書に記載された保証期間内において、弊社に対し無償修理を依頼することができます。

- ただし下記の場合、弊社は無償修理を承れません。
- (1) 保証書をご提示いただけない場合。
 - (2) 保証書に販売店印ならびに購入年月日の記載がない場合。
 - (3) 保証書が弊社から発行した保証書でない場合、または偽造・改変などが認められた場合。
 - (4) 弊社より発行した保証書と認められない程に破損・汚れが付着している場合。
 - (5) 故障した製品をお送り頂けない場合。
 - (6) 弊社が動作を保証するとして指定した機器以外でご利用するために故障または破損した場合。
 - (7) お客様の過失により本製品が故障または破損した場合。
 - (8) 火災・水害など天変地変および静電気などの異常な電圧などの外的要因により故障または破損した場合。
 - (9) 消耗品の自然な消耗・劣化により故障した場合。
 - (10) 輸送中の振動・落下により故障した場合。
 - (11) 一般家庭用以外 (例えば業務用) での使用による故障または破損した場合。
 - (12) その他、弊社の判断に基づき、無償保証が認められない場合。

■修理

修理のご依頼時には製品をお買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターにご送付ください。

■免責事項

お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、損害賠償責任は購入金額を限度といたします。
弊社における保証は本製品の機能に関する保証のみに限り、弊社に責任を負いません。また記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

■有効範囲

本保証規定は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

ここに保障書シールをお貼りください。

- 本書の著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- 本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡願います。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft社 の登録商標です。その他本書に掲載されている商品名 / 社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

ホイール付イメージセンサマウス M-M1UP2R シリーズ
ユーザーズマニュアル 2005年7月1日 第1版
エレコム株式会社
©2005 ELECOM Co.,LTD. All rights reserved.